

ちょっと残念だったこと

6月27日（日）に村郷土館主催の「泊海岸トレッキングツアー」に参加しました。当日は快晴・微風で、最高のトレッキング日和、郷土館館長の説明を受け、約20人が泊のリアス式海岸を散策しました。

「とまりのトトロ」と呼ばれる弥次郎穴、滝の尻大滝、タタミ岩、ぼっとあげ（潮吹き穴）を経て大穴洞窟遺跡へ。途中、地元の漁師さんが、海から昆布を取って、岩場に干している姿が見られました。

片道1kmのトレッキングでは太平洋を眺めながら、草むらや岩場、海の浅瀬などを歩きます。途中一ヶ所だけ白砂の場所がありましたが、他は石コロの上を歩きます。海辺歩きは数倍疲れますが、心地よい風と海のきらめきが心身を癒してくれました。

残念だったのが、海辺や歩いているコースにたくさんのゴミがあったことです。ペットボトル、空き缶、ビニール袋、プラスチック容器……。様々なゴミがあちこちに散乱しています。海から打ち上げられたようなゴミもありますが、ゴミの状態から察するに、海に遊びに来た人が捨てたものが多いように感じました。ゴミの問題は、せっかくの素晴らしい景観に水を差すだけでなく、海洋汚染、環境破壊にもつながるものです。

学校でも、子ども達と一緒に「海のゴミ」ひいては「SDGs」を考える機会をもてればと思います。

藤川俊彦（7月7日更新）